



# 2月の予定

(公)中央公民館 (子)子育て支援センター  
(町)町民会館 (さ)さんさん館 (健)健診ホール  
(温)温水プール (ふ)ふれあい公園PG場

- 3日(木) ゴールドスポーツ教室(冬)③ 午後1時30分～3時(公)
- 4日(金) 寿大学講座【運動】 午前10時～正午(公)
- 5日(土) スケートイベント 午前9時～正午(津小グラウンド)
- 6日(日) **【休日当番病院】**びほろ耳鼻咽喉科クリニック ☎73-3900  
ジュニアスポーツ講習会【バスケットボール教室】  
午前9時～(農業者トレーニングセンター)
- 9日(水) からだりセット① 午後6時30分～8時(公)
- 10日(木) ゴールドスポーツ教室(冬)④ 午後1時30分～3時(公)
- 11日(金) **【休日当番病院】**美幌 工藤医院 ☎73-3356
- 13日(日) **【休日当番病院】**美幌 みやざわクリニック ☎75-0800
- 14日(月) 1歳半、3歳児健診 午前9時～正午(健)
- 16日(水) 離乳食教室  
からだりセット② 午後6時30分～8時(公)
- 17日(木) ゴールドスポーツ教室(冬)⑤ 午後1時30分～3時(公)
- 18日(金) プレママ学級① 午前10時～11時30分(役場中ホール)  
寿大学講座【法話】 午前10時～正午(公)
- 19日(土) アソビバ!つべつ【初めての泊り】
- 20日(日) **【休日当番病院】**美幌 田中医院 ☎73-2913  
アソビバ!つべつ【初めての泊り】  
かるっちゃつべつ【スノーシュー】
- 23日(水) **【休日当番病院】**津別病院 ☎76-2121
- 24日(木) 家庭教育講座【二胡と読み聞かせ】(公)  
ゴールドスポーツ教室(冬)⑥ 午後1時30分～3時(公)
- 25日(金) プレママ学級② 午前10時～11時30分(役場中ホール)
- 26日(土) 歩くスキーの集い
- 27日(日) **【休日当番病院】**美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 28日(月) 乳幼児相談会 午前9時～11時(健)

**【お知らせ】** 本紙および折り込みチラシに掲載されている行事予定などにつきましては、新型コロナウイルス感染症予防のため中止・延期になる場合があります。参加ご希望の方は、町ホームページをご覧ください。どうか、担当課・主催者に電話でご確認ください。

## 人の動き 令和3年12月末現在 ( )は前月比

人口	4,331人 (+2)
男性	2,121人 (+3)
女性	2,210人 (-1)
世帯	2,227戸 (-1)
高齢化率	45.00% 1,949人

### お知らせ 津別町空家セミナーおよび空家無料相談会の中止について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月1日に予定していた津別町空家セミナーおよび無料相談会を中止することとしました。ご理解のほどよろしくお願い致します。

建設課住宅係20番窓口 ☎77-8390

### 【182】 まちなか再生事業(2)

12月定例議会の一般質問で、「関係人口」について質問があった。徳島大学の田口先生の言葉を借りると、「関係人口とは、「観光以上、移住未満」で、地域との関わりを持つという都市住民との連携を模索するもの」という。

移住した定住人口でもなく、観光に来た交流人口でもなく、地域と多様に関わる人たちを指す言葉と定義づけられている。国土交通省

### たてよこプラス



町長 佐藤多一  
「たてよこプラス」を推進する

では、関係人口は「訪問系」とふるさと納税などで間接的に関わる「非訪問系」に分かれるとし、訪問系は、さらに「直接寄与型」「就労型」「参加・交流型」などに細分化されるという。

いる。

津別町は、平成27年にスタートした国の地方創生事業の1年に、長くラグビー合宿で交流のある筑波大学を関係人口と捉え、まちなかの再生を研究する協力を要請した。快諾を得て3年間、大澤先生を中心に多くの大学院生が来町し、今日の「まちなか再生計画」

明治大学の小田切先生は、関係人口が生まれた背景には、市町村の移住政策担当者が、「移住する」か「移住しない」かの二元論で都市住民を見ていたことの反省があるという。普段からさまざまな形で人を受け入れ、協力をし合いながら、自分たちの町を盛り上げていくことが、この町の土着民として大切なことだと思っ

のベースをつくっていただいた。また、昭和の時代に関係をつくった船橋市とは、市長や青少年交流協会の協力により、市からの移住者がインターネット「局や障がい者グループホームなどを開設した。そして、全国各地からやって来た地域おこし協力隊の方たちの起業も続いている。

また、町のホテルの指定管理者である札幌の会社からは、ドラッグストアの誘致にさりげなく協力をいただいた。津別町が持つさまざまな関係(ネットワーク)を生かしながら、町の再生に向けた取り組みを進めて